

清柳園（かつての清瀬市ごみ焼却施設）から汚染物質

柳泉園組合議員から市議会へ報告・市民は知りたいその実態

2021年12月17日 清瀬市 阿部洋二

11月30日、令和3年清瀬市議会第4回定例会柳泉園組合議会報告を傍聴。その中で「清柳園の敷地内で鉛やダイオキシンを含む大量の焼却灰が発見され・・・」とありました。

清柳園とは、清瀬市下宿市民センターの北方約50メートル、武蔵野線高架橋隣にあり、以前清瀬市の可燃ゴミ焼却炉が稼働していたという。今現場に行くと「立入禁止 柳泉園組合」の看板のあるフェンスに囲まれた広い敷地に3～4階建てくらいの大きな建物と巨大な煙突らしきものが長期間使用されてない様子で見られます。

敷地内に汚染された焼却灰があるという報告です。市民として、汚染の程度や量など、いつ頃何故に、その対策、今後の土地利用・・・具体的なことが分からず心配です。

清瀬市ごみ減量推進課を訪ね職員にお話を聞きました。それによると、稼働していたのは1年間程度（昭和の時代）、そのときのものだろうとも考えられる。その頃の担当者は既に居ない、記録も有効なものが見当たらない。当時は廃棄物処理法も無かった（或いは緩い内容であった）のでしょう。

近隣住民には市と柳泉園組合の職員が戸別訪問して、安全性は保たれている主旨で説明しており、今のところは市民全体に対する報告等は予定していないとのこと。

清瀬市ホームページに市長への意見を返事付きで送信するメールが設定されています。説明会を要望する旨発信しました。回答を受け取ったので次ページに示します。回答の主旨は汚染度の調査結果が国の基準を満たしたもので問題なし、近隣住民には戸別訪問で状況説明している、市民説明会は予定してない、等。

回答内容での疑問として①化学物質による人体への影響は被った本人だけの問題だけでなく何世代か後の子孫に出ることがある。アスベストでの中皮腫被害とは異なる。②汚染は清柳園だけ気にすれば良いのではなく放射能、他の化学物質、プラスチック・・・

多様で複合汚染もある。③将来を見据えて法律の上を行く行政判断は歓迎される。等を返書しました。

市内に汚染物質があり、状況や今後が予定も分からずに放置されているのは市民として不安です。行政が情報を市民へ知らせずに居るのは良くありません。できるだけ早い機会にきちんとした報告を望むものです。行政としても今は調査や計画に不十分なところもあるようですが、早い機会に説明するよう要望します。

安全安心と行政の民主化のために多くの皆様が注目されるようお願いします。

阿部 洋二 様

市長の渋谷でございます。市長へのメールを拝見させていただきました。
日頃より市政に対しまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。
阿部様からのご意見につきまして、次のとおりお答えいたします。

【件名】清柳園の汚染物質・報告会開催を望む

【回答】

柳泉園組合による清柳園土壌調査結果として、表層土壌より鉛やダイオキシンを含む有害物質が検知されたことは事実でございます。

柳泉園組合からの回答は以下のとおりです。

下宿地域市民センター付近（東京都実施）の環境大気中測定（年4回）の実施においては、環境基準を満たしており、環境省ホームページに掲載されている事業者が行う土壌汚染リスクコミュニケーションのためのガイドラインによりますと、敷地内の汚染土壌を長期間に渡り、毎日摂食しない限り、健康上の影響はないとのことです。
また、地下水の影響に関しましては、有害物質は地下水内で希釈されるとともに、土壌に吸着され、分解されて希薄化することに加え、敷地周辺には飲用井戸が確認されておらず、地下水による人の健康への影響はないと考えています。
そのため、現状としても健康被害はないと考えていますが、更なる安全を確保するため、シート養生を実施し、飛散防止にも早期に取り掛かります。
清柳園に関しては柳泉園組合の敷地であることから、柳泉園組合により今回の土壌調査の結果を近隣住民の各世帯へ訪問して資料を配布し、また、市民の皆様には、組合ホームページ及び近隣住民の各世帯へニュースにより公表いたします。
更に、今後も詳細な土壌調査を実施していきますが、その結果が出た段階でも近隣の住民の皆様への周知、市民の皆様への公表を実施し、また、清柳園解体工事着手の段階では住民説明会を実施いたします。

以上のように伺っておりますことから、現時点では、市が報告会を開くことは考えておりませんが、今後、清柳園の対応については、柳泉園組合構成市、柳泉園組合で協議しながら進めてまいりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

市長よりの回答メール



2021年12月の清柳園、後方は武蔵野線高架橋